

診療実績・臨床評価指標

項目	平成29年度 数値	平成30年度 数値	令和元年度 数値	令和2年度 数値	令和3年度 数値	単位	定義	説明
【入院】								
稼動病床数	323	323	323	323	323	床		実際に使用している入院ベッドの数
延べ患者数	93,967	99,215	98,848	92,105	93,148	人	期間内の毎日の入院患者数合計	1年間の入院された患者の累計
新入院患者数	8,860	9,603	9,241	8,294	8,660	人	入院毎にカウントする患者数 (同一疾病での再入院を含む)	1年間で新規に入院された患者の数
診療科別入院患者数 (別紙1)							各診療科別での入院患者数	1年間で各診療科での入院された患者の数
1日平均入院患者数推移 (別紙2)							のべ入院患者数/365	1日平均の入院患者数を示す
退院患者数	8,888	9,594	9,266	8,277	8,675	人	退院毎にカウントする患者数	1年間の退院された患者の累計
診療科別退院患者数 (別紙3)							各診療科別での退院患者数	1年間で各診療科での退院された患者の数
疾患別退院患者数 (別紙4)							疾病分類での退院患者数	主にどのような疾患での退院があるかを示す
DPC件数	7,637	8,889	8,508	7,650	8,546	件	DPCでの対象患者の件数	1年間のDPC対象患者の件数
平均在院日数	10.6	10.3	10.7	11.1	10.8	日	のべ患者数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	1人の患者が平均何日間入院しているかを示す
病床利用率	79.7	84.2	83.6	78.1	79.0	%	のべ入院患者数÷(稼動病床数×診療実日数)	どのくらいの割合で入院していたかを示す
平均在院日数・新入院患者 数・病床利用率推移(別紙5)								病床利用率が高ければベッドを効率的に運用している ことを示し、平均在院日数と新入院患者数との推移を示す
褥瘡発生率	0.4363	0.5442	0.4957	0.53	0.4406	%	院内褥瘡発生数/入院のべ患者数×1000	褥瘡対策チームが中心となり、治療・ケアを発生防 止に努め、看護ケアの質評価の重要な指標になる
死亡退院率(別紙6)								
退院後6週間以内の 緊急再入院率	5.28	5.99	5.04	4.08	4.85	%	退院後6週間以内の緊急入院患者数/退院患者数	入院中に患者が十分な治療を受けて退院することがで きているのか検討指標
【外来】								
新外来患者数	16,500	17,356	17,142	13,525	14,374	人	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数	1年間の新規の外来患者の数
のべ外来患者数	151,621	154,709	152,495	142,650	143,913	人	初診料と外来診療料を算定したのべ患者数	1年間の外来受診された患者の累計
1日平均外来患者数推移 (別紙7)							のべ外来患者数/365	1日平均の外来患者数を示す
救急外来統計(別紙8)								救急医療は重点医療の一つであり、休日・全夜間の診 察を引き続き実施し、積極的な患者受け入れに努める
【手術】								
施設基準に掲げる手術件数	986	1,033	900	846	1,067	件	医科点数表第2表第10部手術の通則5及び6に 掲げる手術の件数(平成26年度)	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術で1年 間に実施した件数
全身麻酔件数 (再掲・硬膜外麻酔併用)	1,213 (95)	1,231 (106)	1,184 (105)	1,154 (22)	1,128 (101)	件	手術室利用件数	
脊椎麻酔 (再掲・硬膜外麻酔併用)	597 (47)	614 (47)	597 (44)	569 (33)	485 (47)	件		
硬膜外麻酔	103	94	138	116	123	件		
緊急手術件数	303	397	444	379	305	件		
内視鏡検査件数(別紙9)	6,951	6,925	7,166	6,198	6,931	件	検査数 (1) 上部内視鏡 (2) 膀胱・胆管系 (3) 気管支鏡 (4) 下部内視鏡	内視鏡検査で①食道・胃などの上部 ②膀胱・胆管③ 気管支 ④大腸などの下部を示す
【その他】								
救急車搬送件数	2,509	2,707	2,835	2,415	2,782	件	救急患者のうち、来院方法が「救急車」の患者数	1年間の救急車での搬送件数
小児深夜センター統計 (別紙10)							深夜市子ども深夜センターでの受診患者数 (午後8時～午後11時まで、3時間受付)	地域における救急医療体制を整え、日常の病診連携も 進み、当院小児科医にとっても過重労働の軽減になる
がん登録件数	1,118	1,123	1,186	1,074	1,125	件	「院内がん登録 標準登録様式」における部位 登録数、ステージ別・治療方法別件数	当院で行なっている「院内がん登録」の登録実績、がん 医療に力をいれて取り組んでいる
部位別件数(別紙11)								
地域別件数(別紙12)								
紹介率・逆紹介率推移 (別紙13)							地域医療支援病院の紹介率 ⇒ 紹介患者数/初診患者数×100 逆紹介率 ⇒ 逆紹介患者数/初診患者数×100 地域医療支援病院に指定されており、要件にもなっている。今後も地域医療の連携に努める。	
剖検率	0.89	1.18	1.95	4.09	0.46	%	剖検数/死亡退院患者数×100	病理解剖は、亡くなられた患者様の死因を究明し、今 後の医療に役立てていくためにも大切であり、臨床研 究病院の研修上の観点からも大切である
大腿骨頭部骨折連携パス の使用率	51.76	57.87	57.14	45.27	51.8	%	期間中に医療資源を最も投入した傷病名が大腿 骨頭部骨折で退院した症例のうち、「地域連携診 療計画管理料」が算定された症例の割合を集計	大腿骨頭部骨折の患者に継続的な医療を提供するた め連携パスが作成され、どのくらいの患者が対象と なっているかの指標するから連携レベルを評価する
【部門別】								
外来化学療法件数	2,150	2,080	2,258	2,378	2,384	件	外来で化学療法を実施した件数 (外来化学療法加算)	抗がん剤を使用した化学療法の件数
放射線療法件数	216	192	186	229	213	件	放射線治療件数、症例数(新患者)	
CT撮影件数	15,931	17,316	17,068	15,608	16,448	件	期間中ののべ実施件数	
MRI撮影件数	3,905	5,352	5,521	4,844	5,061	件	期間中ののべ実施件数	
超音波検査	4,750	5,177	5,293	5,053	5,334	件	期間中ののべ実施件数	
IVR件数 (カテーテル・血管内治療)	524	633	616	645	699	件	期間中の実施件数	
検査件数(別紙14)							検体・細菌・病理・生理機能件数	
心大血管疾患リハビリテーション 実患者数	1,369	2,169	2,442	3,150	2,333	件	期間中の実患者数	
脳血管疾患リハビリテーション 実患者数	2,323	3,467	4,358	3,354	5,526	件	期間中の実患者数	
運動血管疾患リハビリテーション 実患者数	4,881	4,117	5,485	4,914	6,621	件	期間中の実患者数	
呼吸器疾患リハビリテーション 実患者数	832	957	950	1,461	3,164	件	期間中の実患者数	
肺血栓塞栓予防管理料件数	1,318	1,378	1,170	1,086	1,010	件	期間中の実施件数	
薬剤管理指導料件数	8,970	7,921	9,353	10,279	9,253	件	期間中の実施件数	
麻薬管理指導料件数	546	135	128	309	254	件	期間中の実施件数	